

2020年度 学校自己評価・点検

教育目標

つよく・あかるく・かしこい子の育成

- つよく … しっかりとした心と強い身体を持った子
- あかるく … 豊かな情操を持ち快活でおもいやりのある子
- かしこい子 … 物事のけじめがわかり主体的に行動できる子

重点目標

大切にすることを育む～友達を通して～

重点目標の達成評価

【A：達成されている B：ほぼ達成されている C：あまり達成されていない D：達成されていない】

	結果	理由
年少	B	クラスの先生や友達の名を覚えたり、親しみを持って過ごすことが出来た。自分の気持ちを伝えられる子が増えたが、泣いて訴える姿もある。また、友達に気持ちを伝えられるようになったが、受け止めるのがまだ難しく、保育者が間に入ることで、納得することが出来る。
年中	A	日々の活動や行事を通して、友達と協力することの楽しさ、友達の良さに気付いていた。その中で友達が頑張ったことを誉めたり、喜び合ったりする姿が多く見られた。2クラスで混ざって遊ぶことも多くあり、仲もすごく良かったが、勝負ごとになると、互いのクラスをライバル視して、クラスで団結する姿もあった。でも、クラス同士で相手のことをほめたり、頑張りを認め合うこともできていた。
年長	A	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の良さをみつけ、伝えあう姿があった。 ・行事に向けて話し合ったり相談したりし、作り上げていった。

2020年度 学校自己評価・点検

学年目標の達成評価

【A：達成されている B：ほぼ達成されている C：あまり達成されていない D：達成されていない】

	評価項目	結果	理由
年少	園生活や基本的な生活の仕方が分かる	B	基本的な生活習慣は身に付いてきたが、自ら挨拶したり、話を最後まで落ち着いてきいたり、返事をするなど、もう一步の所が多かった。もっと詳しく分かりやすく説明していくことが必要
	心のやすらぎをもって行動する	A	クラスの先生や友達だけでなく他学年や他のクラスの先生とも関わる事が出来、安心感をもって過ごすことが出来ていた。
	友だちや先生と遊ぶ楽しさや喜びを得る	A	毎日、外あそびの時間を多くとることで、自分の好きなあそびを見つけたり、友達と一緒に楽しむことができ、遊びの継続にもつながった。ルールのあるあそびや集団あそびも楽しんで遊ぶことが出来た。
年中	園生活に必要な基本的な生活習慣やきまりを身に付ける	B	基本的な生活習慣は身につけていた。しかし、お客さんに対しての挨拶が進んでできなかった。又、階段の昇り降りの仕方など危険な姿が見られるので確認が必要だった。
	信頼感をもって自主的に行動する	A	活動や当番の仕事など“やってみたい”“やりたい”と意欲的に取りくんでいた。中でも当番活動では仕事内容を覚え、責任を持って取りくんでいた。
	友だちとの遊びや体験を楽しんで広げていく	A	友だち同士で意見を伝え合ったり、教え合ったりしながら遊びを進めていくことができていた。
年長	園生活に見通しをもって行動し、自らよりよい生活を営もうとする	A	時計、片付け、掃除、身だしなみなど自分のことを主体的に取り組む姿が見られた。
	自然や社会生活と関わり、感謝の念や規範意識を持って行動する	A	自然物を使ったあそび、実験や雨の観察など季節を取り入れながら活動できた。汚れているところ、散らかっているものなど自ら気づき、きれいにすることができた。
	自己を発揮し、友だちとの関わりを深めていく	B	概ね達成されているが、中には自分の意見を出したりが控えめな子もいた。
	主体的に様々な環境に関わり、考え工夫し表現する	A	BBQごっこ、制作などあそびが豊かだった。

2020年度 学校自己評価・点検

今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
年少	制作を充実させる	廃材遊びをカリキュラムに取り入れていく。制作のためにのりはさみを使うのではなく、自由なあそびの中で行える時間を早い段階から行う。
	身だしなみ	身だしなみの写真パネルを早い段階から出し、意識付けを行う。 (自分でシャツをしまう、ブレザーをきちんと着るなど行えるようにしていく)
	歌	日頃から様々な歌に触れ、日常的に歌う環境を作る (月刊誌の活用、お誕生会のおどりの曲をうたうなどしていく)
年中	挨拶・返事の継続	保育者が見本となって行っていく。できていない時を見逃さず声をかけていく。
	グループ活動の継続	友だちの良さや、協力する事の楽しさに気付いたり、任された仕事をやり遂げる責任感へとつながっているのが今後も続けていきたい。
	自然あそび	自然物を取り入れた遊びをポスターや写真などを使って掲示し、子どもたちが興味を持って遊びを広げられるようにしていく。
年長	グループ活動の充実	年間を通し行う。グループの作り方は共通のもの、人間関係、子ども達で決めるなど様々な方法で行う。
	言い方	心の図鑑を活用したり、こんな時どうするを実例をもとに話したりする。
	伝承あそび	1年通して様々なものを取り入れていく。

2020年度 学校自己評価・点検

学校関係者評価

- ・学期ごとに自己評価制度を行うことで1年間の幼児教育をより効果的にしていると感じる。
→（園職員コメント）教育の質の向上に繋がっていると自分たちも感じている
- ・行事アンケートを読むと、コロナ禍にもかかわらず、様々な工夫を凝らして行事を安全に開催していることへの感謝が多く見受けられ、高く評価できる。
- ・自己評価の「結果」が4段階だが、もう少し細かいほうが、パッと見た時にわかりやすくよいのではないか
→（園職員コメント）「幼稚園における学校評価ガイドライン」に従って4段階を採用しているが、より伝わりやすい形を今後検討していきたい。
- ・「今後取り組むべき課題」が具体的に示されているので、来年に期待ができる。

実施日：2021/3/22